

タイトル (活動概要)	100 今日の気分は？	アプローチ (関連する力)		「自分づくり」② 「仲間づくり」⑤ ⑬ ⑭ ⑮	
タイミング (実施時期)	クラスの友だちが分かり始めてから(通年)	活動場所	教室	所要時間	5～30分
対象学年	幼・ <u>小低</u> ・ <u>小中</u> ・ <u>小高</u> 中1・中2・中3・高	対象規模	学級	活動場面	朝の会・帰りの会・学級活動等
活動のねらい	<p><背景>相手の表情から感情や気分を読み取ることが難しい子どもが多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちに共感して、励ましたり心配したりする言葉掛けができるようにする 自己理解を深めるために感情を表す言葉を増やす 相手の表情から気分や感情を推し量ることができるようにする 				
準備	・表情カード(資料参照、発達段階に応じて選択する)				
学習・活動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 友達の気持ちを知り、温かい言葉をかけよう </div>					
2 主活動 ・今日の自分の気分にぴったりの表情をしたカードを選ぶ ・そのカードを選んだ理由を話す ・友だちの話聞いた感想を話す ・友達の選んだカードのような気分の時、「自分だったらどうして欲しいか」「友達に対して何ができるか」話し合う		・日直、番号順など順番を決めておく ・話し手の気持ちに共感した感想を話せるように担任が見本を示す ・発達段階に応じて、自己表現することに重きをおいてもよい		表情カード	
3 ふり返り ・今日の活動から感じたことや気付いたことを記入する		・話し手が、みんなに聞いてもらえて良かったという気持ちももてるような雰囲気づくりをする			
配慮事項	・どうしても話したくないことはパスしてよい ・カードは、国語や英語の登場人物の気持ちの変化をとらえるとき等、他にもいろいろと活用することができる				

参考：本田恵子「キレやすい子の理解と対応」ほんの森出版、2002年

「表情ポスター・カード」株式会社クリエーションアカデミー、2003年

表情カード



